

石川県七尾市、能登町、穴水町、内灘町の 仮設住宅 890 戸へ緑のカーテンを設置 福島県双葉町の被災者も支援

NPO 法人緑のカーテン応援団は、令和 6 年の能登半島地震被災者の暮らす仮設住宅に、緑のカーテンを設置する「仮設住宅×緑のカーテンプロジェクト in 石川」を実施します。

各自治体と協議し 5 月中旬から 6 月下旬に、七尾市 7 団地、能登町 3 団地、穴水町 8 団地、内灘町 4 団地、合計 22 団地・890 戸の希望者へ設置します。

緑のカーテンは、夏場の日射を遮蔽し、窓のプライバシーを高め、植物を育てる楽しさ、近隣とのコミュニケーションのきっかけになるなど東日本大震災時の活動からその効果を見てきました。

殺伐となりやすい仮設住宅に少しでも潤いをもたらしたいと、当 NPO 法人はその後も、熊本地震や九州北部豪雨、西日本豪雨、令和 2 年 7 月豪雨など、仮設住宅が建設される度に各地で活動を続けています。



運営スタッフに双葉町出身のメンバーを迎え、双葉町の住民に能登半島の支援を呼びかけます。

この度、運営スタッフに双葉町出身のメンバーを迎えることができ、双葉町の住民に能登半島の支援を呼びかけ実施します。

双葉町のみなさんは、東日本大震災の際に原発事故を受け、埼玉県加須市の廃校になった騎西高校に集団で避難しました。その時、当 NPO 法人が、校舎全体を覆う緑のカーテンを住民の皆さんと一緒に設置しています。



双葉町出身の運営スタッフから双葉町役場へ声をかけたところ、ぜひ協力したいと返答がありました。広報誌、ホームページ、SNS 等で町民にボランティア募集の呼びかけを行なっていただけます。

被災した双葉町の方だからこそ、能登半島で被災した方々への支援を行いたいという思いを強く感じます。

ボランティア募集・寄付のお願い

設置に向け、現地でお手伝いいただけるボランティアを募集いたします。

能登半島は震災直後、使用可能な道路が混雑する事態となり、ボランティアの被災地入りが遅くなっています。報道によると、発生から3ヶ月経った現在ボランティア数が、熊本地震の時の1/10（1万人）と少なく、「多くの人のがれきを片付けていた東北とは違い、（能登半島は）静かすぎる被災地。こんなことは初めてだ」（産経新聞）との声も、聞こえています。

インフラの復旧工事とともに、仮設住宅への入居が始まり、被災者への暮らしの支援が求められるようになっていきます。一緒に活動いただける方を募集いたします。

また、活動への寄付もお願いいたします。詳しくはHPをご覧ください。

NPO 法人緑のカーテン応援団

「仮設住宅×緑のカーテンプロジェクト in 石川」

<https://midorinoka-ten.com/>



東日本大震災時の活動

<https://midorinocurtain-kasetsu30000pj.jimdofree.com/>



騎西高校での緑のカーテン設置の様子



仮設住宅×緑のカーテンプロジェクト及び、双葉町の住民による被災地支援にご興味いただけましたら、ご連絡いただければ幸いです。

<問い合わせ先>

NPO 法人緑のカーテン応援団

理事 菅原浩一

09054076066

koichisugahara@livlan.com

NPO 法人緑のカーテン応援団について

この法人は、すべての人々を対象として、緑のカーテン（植物によるカーテン）の普及および緑のカーテンづくりを支援するための事業、環境建築に関する調査研究事業を行い、地球温暖化防止活動の推進と環境教育の充実を図ることで、人々に環境問題について考えるきっかけを提供し関心を高め、そして、誰もが幸せを感じることができる健康的で心地良い暮らしの創造を促進し、自然と人間が共生できる豊かな社会を実現することを目的とします。

主な活動

- 🌱 自宅・学校・職場などで緑のカーテン普及啓発活動
- 🌱 育成に関する助言、苗や土、ネットなどの様々な知識や情報の提供
- 🌱 緑のカーテンの講演、企業 CSR サポート
- 🌱 全国緑のカーテンフォーラム開催
- 🌱 仮設住宅×緑のカーテンプロジェクト

【概要】

称 号：NPO 法人緑のカーテン応援団（法人番号 4011405001330）

所在地：東京都板橋区東坂下 2-8-1（株式会社タニタハウジングウェア内）

理事長：鈴木 雄二

認証日：2006年12月20日

設 立：2007年1月12日